

## 委員からのご意見等について

## ① 答申書（案）について

ご意見	
	スローガンにあります1人1日マイナス91gは、本計画(素案)の37ページの説明から、現状推移による減少15gも含んでいるとのことですが、自らのこととして取り組むことが必要であると明記されているので、1人ひとりがジブンゴト化し、取り組んで成し得る減少量の76gがスローガンとしては相応しいのではと思いました。 このタイミングでの意見ですので、今更で申し訳ありません。
	重点施策3. 近隣自治体との協調と連携 どうイメージしたらいいのか *川西市の道路が崩壊等で通行不能になり、ごみを収集できない場合、近隣市（宝塚・伊丹・池田）が応援してくれるのか、またその方法。 かつて、川西市が大型ごみを有料化した際、隣の宝塚市から夜中に大量の大型ごみが加茂2丁目の集積場所に捨てられていた経緯がある。  *日ごろから集積場所を予め決めておき、隣近所の住民による撤去作業の方が手っ取り早いのでは。まさに結いの精神はどうか。
	重点施策5. ごみ有料化の実施 なぜ有料化にするのか、市民の皆さんに理解を得ることから始まり、まずごみを減らす目的、今まで縁の下で支えて下さった収集員の皆さんに感謝し、不要な物は買わない、捨てない、大事に使う。
	よくまとまっていると思います。 ごみの有料化の実施、導入方法を早急に検討すべきと考えます。 また、戸別収集も視野に入れていただきたい。

## ② 【川西市一般廃棄物処理基本計画（素案）】について

ページ NO.	ご意見
8	第2章1の位置変更について会長のご意見に賛成です。
10	フリーマーケットやリユースショップ等の活用を具体的に市民にアピールする方法を具体的に明記すべきでは？
12	再生資源集団回収が市の助成を含め、新型コロナ感染症前の3分の1に減少しているが地元のコミュニティ活動に資源回収による活動費の増額方法のPRの徹底をお願いしたい。
16	チラシ等が、一般ごみに入っており焼却処分され、再生資源になっていない。
26	事業所から発生する食品ロスを減らし、子ども食堂の運営に役立てるよう事業所に働きかける。
26	③集団回収の維持・拡大 西宮市ではアルミ缶を回収し、市の財源にしていると聞いたことがあります。 川西市でも人員が不足の中、難しいかもしれませんが少しでも盗難を防ぐ対策の考案をお願いしたい。
28	5) 地域で協働の人材づくりやコミュニティ運営委員会・小学校にアピール、努力したい。
28	災害時の市民への周知徹底や、災害時の廃棄物の仮置き場の候補地をあらかじめ選定しておく。

ページ NO.	ご意見
34	目標値の設定では、市民1人あたりがキーワードになっていますが、市民数が全く分からないので、例えば、「市民155千人で1人あたり・・・」と全体数がどこかに表現されている方が36ページの「削減・資源化見込み量」にも説得性がより出ると思います。
35	「実績値」・「現状維持」・「目標値」のそれぞれの数値が表にまとめられており、非常に分かりやすいと思います。
36	施策2 生ごみのたい肥化 施策に取り組んでいただき感謝します。と同時に有機野菜の生産を広めていきたい。
36	施策6の「レジ袋を断る」という表現について、現在はこちら（顧客）側から依頼しない限りレジ袋が提供されない店舗も多くあるため、「マイバッグを持参する」などの表現に変えるのが良いかと思います。
37	(3) スローガン ごみ減量において重要な「分別」に光を当てた内容に感心しました。 市民一人ひとりが出来る事ですね。 かつて私自身、家庭ごみを出す時に資源になる紙類（紙製容器包装）を燃やすごみと勘違いしていた事もありました。 ごみは資源であることをもっともっと市からPRしてほしいです。
38	NO.20 「国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館「ゆめほたる」との連携」のところで、“環境楽習館”と記載がありますが、現在、ゆめほたるでは“環境楽習館”というフレーズは使用されていないようです（過去は使用）。
38	NO.34の「ポイ捨て、不法投棄対策の実施」主体で事業者に○がついていないのはなぜでしょうか。 産業廃棄物の不法投棄を考慮すれば事業者も重要な主体になってくると思われま
39	「食べ残し、手付かず食品ゴミの削減」を徹底し、食品ロスをなくし、食料を徹底的に有効活用する。
39～54	具体的施策について 委員会の審議で議論された内容がよく反映されています。 実施される施策はいつ、設置されるのはいつ、啓発されるのはどのようになど、具体的に早急に市民に発信されればと思います。
48 50	48ページの表3-3-2の事業系ごみの内容「事業系の一般廃棄物については、事業者が自らの責任において適正に処理する」は当然のことで、それをチェックする機能の1つとして、50ページの【36】事業系一般廃棄物減量化計画書の活用促進があらうかと思います。 「得られた情報を活用した助言・指導に努め」とあるように、なぜ減量化ができていない、なぜ適正処理が出来ていないかについて、事業所の困りごとを聞き出して、それを解決するための処理業者の斡旋など、踏み込んだ「助言や指導」をしていただいたうえで「事業所の責任において」という位置づけが望ましいと感じます。
53	前回会議でごみ処理費用の有料化を目指しているのに、ごみ処理にかかる費用がキログラムあたりどれ位で、ごみ袋代と合わせていったいいくら位で市側が考えているかが具体的に答えられない状態には驚きました。 一度決定したらそうそう変更できないモノと考えます。 有料化の実施時期と現状把握による緻密な計算からの納得性のあるごみ袋の価格をよろしく願います。 なぜなら市民の納得できる十分な説明が必要だからです。
55	下水道普及率を載せても良いかもしれませんね。